



◆図書館だより◆

2019年1月9日 No319

# なんだりかんだり



"NANDARI-KANDARI" means "Anything". In other words we call it "森羅万象".

日本大学第二学園図書館

## ◎はじめに

皆さん、あけましておめでとうございます。時の流れは早いもので、1982（昭和57）年12月3日に『図書館なんだりかんだり』として、この図書館だよりが創刊されてから、37年目に入りました。これもひとえに、皆様にご愛読いただき、温かい励ましのお言葉を頂き、ここまで続けることが出来たものと深く感謝しております。今後も親しみのある、少しでも皆様のお役に立つような紙面作りを目標に、励んでいきたいと考えております。引き続き、ご愛読くださいますようお願い致します。

さて、第3学期が始業しました。いよいよこの年度のまとめの時期となります。何事にもやり残しや悔いが残らないよう、毎日の時間を大切に、効率的に過ごすようにしましょう。そして、それぞれの夢の実現や目標の達成に向けて、お互いに頑張りましょう！

## はつもうで いつまでもいつもの神に初詣[耕]

### 🐘 そうさんの独り言 🐘

2020年に文部科学省が学習指導要領を新しく改定する予定です。そこで、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されます。つまり、教育のICT化が進むということです。これまでの黒板・ノート・鉛筆・教科書から徐々に転換して、パソコンやタブレット・電子黒板・電子教科書・インターネット等を勉強の道具として利活用していくこととなります。学園でもそこに向けて、様々な準備作業が具体的に検討され始めています。昔、基礎的な学力として教えられてきた「読み書きそろばん」の時代から見たら、大いに隔世の感を禁じ得ません。

※ この紙面は学園のホームページからもご覧いただけます。<http://www.nichidai2.ac.jp/>

## —図書館とわたしたち—

### ～2018年のベストセラー～

昨年11月末に出版取次大手の日本出版販売（日販）が、2018年の年間ベストセラーを発表しました。

1位	漫画 君たちはどう生きるか	吉野源三郎原作 羽賀翔一漫画 (マガジンハウス)
2位	大家さんと僕	矢部太郎 (新潮社)
3位	ざんねんないきもの事典	今泉忠明監修 (高橋書店)

- <1位> 児童文学者の吉野源三郎氏の82年前に出版されたこの作品が2017年に羽賀翔一氏の漫画で出版され、累計発行部数207万部超を記録しました。児童文学の形をとった教養教育の古典として、根強い人気を博しています。
- <2位> 作者の住まう家の大家さんとの日常的なエピソードを漫画で描いた心温まる物語。残念ながら、その大家さんは今ではご逝去されてしまい、思い出すのが辛いので、別の場所にお引越しされたそうです。
- <3位> 2016年に小学生の男子をターゲットとして出版されたそうですが、その後、大人にも大人気となり、版を重ねています。思わず誰かに話したくなるような、生き物のおもしろい情報が満載されています。

[文庫部門] 参考掲載

1位	ラプラスの魔女	東野圭吾 (角川文庫)
2位	人魚の眠る家	東野圭吾 (幻冬舎文庫)
3位	羊と鋼の森	宮下奈都 (文春文庫)

さて、2019年はどんな本が、多くの読者の心をつかむのでしょうか？楽しみですね。

## 図書館から

○冬休み中に図書の特別貸出しを受けた人は、今日から返却を受け付けます。また、高校3年生も登校日数が限られてきますので、忘れずに出来るだけ速やかに返却してください。

○また、今日から図書の貸出しは通常通りとなります。合計1人3冊まで1週間の期限となります。貸出しを受ける際は、必ず生徒証（図書カード）を持参してください。